

度の円滑な運営に努めます。

### ■国民年金事業

年金事務所と情報連携を

## 3 都市計画・街づくり

### 中心・安心・先進で、ぎゅぎゅつと便利がつまったまち

#### ■都市計画と土地利用

新しい長期総合計画及び国土利用計画に合わせ、パブリックコメントなどを実施しながら、大河原町都市計画マスタープランの策定を進めてまいります。

#### ■公園の維持管理

公園サポーターなど住民参加による公園管理をより一層促進することも、定期的な遊具の点検や樹木の伐採などを行い、多くの住民に利用される快適な公園づくりに努めてまいります。

#### ■白石川右岸河川敷整備事業

本年度において、堤防の堤頂部分のウォーキングや、サイクリングロード整備及び利用者の利便性を高めるためのトイレ設置の実施設計を行います。また、引き続き河川敷の活用方法について検討し、県に造成を要望してまいります。

密にし、制度周知対策、保険料の減免相談などを実施してまいります。

#### ■公共交通対策

「デマンド型乗合タクシー」の運行については、安全運行を確保しながら、利用者の増加と事業経費の削減に努力してまいります。

#### ■上水道及び下水道

上水道事業については、配水管の計画的な布設替えを行い、管路の耐震化等を進め、災害時の対応に万全な体制を図り「いつでも、安全・安心で、おいしい水」の供給を推進してまいります。

下水道事業については、未整備地区の早期解消に向け

## 4 産業・観光

### ブランド化とプロモーションで、誰もがはつらつと働けるまち

#### ■農業

農業生産基盤については、人・農地プランを継続して推進し、農地の効率的利用や耕作放棄地の解消に繋げることも、経営の安定化を支援してまいります。さらに、優良農地の集積及び、担い手農業経営が持続できる環境を整えるため、ほ場整備事業計画を推進してまいります。

計画的に汚水整備を実施するとともに、老朽化施設の改築更新を進め、安定した汚水処理を推進してまいります。

雨水整備事業では、柴田町と共同による鷺沼排水区公共下水道雨水整備事業で実施している、調整池工事の早期完成を目指すとともに、雨水幹線整備の延伸を実施し、浸水被害の解消に努めてまいります。

(6) 町営住宅  
政策空き家となっている町営上谷住宅について、耐用年数が経過したものから順次解体作業を進めてまいります。

減少しないことから、引き続き、捕獲活動への支援などを行ってまいります。

特産物づくりと6次産業化については、梅、枝豆などの特産品化などの支援を行い、イベントの開催などで、農作物の高付加価値化を目指してまいります。

森林環境の保全については、松くい虫や全国的に被害が拡大している「ナラ枯れ」の被害拡大防止を行うとともに、大高山・天狗森山遊歩道の維持管理に努めます。

さらに、平成31年4月より、森林経営管理法が施行されることから、森林整備計画の策定に着手いたします。

#### ■商業・サービスの振興

昨年完成したにぎわい交流施設の「にぎわいプラザ」と連携しながら、商店街等の機能維持とにぎわいづくりを目指します。特に、「食」をテーマとした事業を展開し、地域産業の活性化に繋がれたいと考えております。

起業・創業支援については、「にぎわいプラザ」を拠点として、商工会や地元金融機関と連携を密にし、創業支援セミナーや相談会などにより新規起業と第二創業等の促進を図ります。

#### ■工業の振興

引き続き、復興特区法や町条例などによる、企業支援を継続するほか、新しい企業進出に対応できる工場用地等の検討も進めてまいります。

#### ■観光物産の振興

本年度も柴田町と連携して「白石川堤 二目千本桜ブランド化」事業を継続し、外国人観光客誘致活動などに取り組んでまいります。また、まちぐるみの一目千本桜の保全・保護を進め、まちの象徴として、未来へ繋げるよう、一目千本桜のブランド化と、情報発信やシティブロモーションを積極的に展開し、町のイメージアップを目指してまいります。

さらには、「宮城インバウンドDMO推進協議会」への



「にぎわい交流施設」内、「にぎわいプラザ」観光ルームへ事務所を移設した観光物産協会

参加による海外観光客の誘致活動や(仮称)仙南サイクルツーリズム推進会議を立ち上げ、自転車で仙南エリアを繋ぐ構想等、広域的な観光政策を推進してまいります。

「大河原町観光物産協会」については、観光案内所、情報発信、商品開発、イベントの実施など、観光物産振興の中心的役割を担うために、法人化に向けた組織強化を

## 5 学校教育・生涯学習

### 志たくましく、おおらかに学び続けられるまち

#### ■学校教育

「外国語指導助手招致事業」の継続、大河原中学校の「学級編制弾力化事業」、各校への「教員補助者」「学校図書司書補助員」を配置するとともに、全ての教員へタブレットPCの配置とそれを活用したICT教育の推進、プログラミング教育に対応する学習環境の整備に取り組み、教育のブランド化を目指してまいります。

#### ■学校施設の維持管理

安全な学習環境のために、各施設の修繕改修を行うとともに、全小中学校へのエアコン設

支援してまいります。

労働政策  
大河原公共職業安定所などの関係機関と連携を図りながら、雇用促進や就職支援に取り組みます。

シルバー人材センターは、本年度より、旧仙台地方検察庁大河原支部に事務所を移します。有効な施設利用により、センター事業の発展を期待しているところであります。

#### ■学校給食

現在建設中の新しい学校給食センターにより、本年の2学期から給食を提供するよう進めております。引き続き、安全でおいしい、栄養バランスのとれた魅力ある給食により、児童生徒の健全な心身の維持と良好な食習慣の形成に努めてまいります。

#### ■生涯学習と社会教育の充実

住民が自由な学習機会を



大河原町学校給食センター完成イメージ

持てるよう、生涯学習課と生涯学習関係各施設が連携を図りながら、学習情報の提供と自主的な学習活動を支援してまいります。また、児童や生徒の健全育成を図るため、地域学校協働活動事業を強化するとともに、地区子ども会の育成指導など、きめ細かな支援を図ります。放課後子ども教室事業においても、地域の方々の協力を得ながら、各小中学校で実施してまいります。

地域文化財の保護と活用については、民俗資料収蔵室の公開と利用促進、文化財講演会の開催、無形文化財の伝承保護や後継者育成等の支援なども実施してまいります。

中央公民館と金ヶ瀬公民館  
中央公民館と「にぎわいプラザ」の機能連携を図り、「にぎ

わい交流施設」が町民や利用者に喜ばれ、親しまれる施設となるよう目指してまいります。

また、金ヶ瀬公民館についても、地域住民の生涯学習の場として、より地域に密着した施設運営に努めてまいります。

スポーツ振興  
各種大会や教室など、誰もが気軽に、より多くの参加が得られるよう関連団体と連携し、工夫してまいります。

大河原クロスカントリー大会についても、実行委員会と協力しながら、趣向を凝らして開催してまいります。

#### ■駅前図書館

多様な図書や資料の整備、読書活動の促進など、学びの場の提供とともに、主催事業やイベントなどを開催し、利用促進に努めてまいります。

また、「絵本と学びのへや」では、放送大学宮城学習センター大河原視聴覚学習室を充実し、利用促進を図るとともに、学習スペースでは、小学生から高齢者まで誰でも気軽に学習できる環境づくりを推進します。